けやき

龍ケ崎市立城西中学校
学校だより
2020. 6.12 号
文責　根本 清史

313 人（1 年 112, 2 年 99, 3 年 102）
https://www.city.ryugasaki.ibaraki.jp/jyosaichu/index.html

部分登校から通常登校へ

久しぶりに学校内に活気が戻ってきました。８日からの通常登校再開により，ずっと会うことができなかった生徒同士の会話や多くの笑顔が見られるようになりました。やはり，生徒がいるからこそ“学校”なんですね。本来の学校のあるべき姿を強く感じた一週間でした。

新型コロナウイルス感染拡大防止の対応をとるようになってから，グループや少人数での活動にも影響が出ています。通常であれば隣の生徒と机を寄せ合い，いつでもペアでの相談や学ぶための関わりを行っていました。しかし，現在は常に隣席との距離を保ち，全員がマスクを着用した状態での学習を行っています。生徒たちは多少の戸惑いをもちながらも「新生活様式」に変化していくことを認識しながら，それぞれが３密回避を心がけた行動をとろうとしています。これから先も続くと思われる新生活様式を正しく認識した上で，中学校生活がより充実したものになるよう教職員一丸となって取り組んでいきたいと思います。

久しぶりの給食

本来であれば ４ 月から行われていた給食ですが，今年度は６月８日が初給食となりました。給食当番が最初に手指消毒を行い，その後他の生徒が前半・後半に別れてトイレと手洗いを行います。配膳時も密にならないように，少人数が移動して受け取る形をとっています。グループで会話をしながらの会食を行うことはできませんが，それぞれが給食の有り難さを感じながら食べていたように感じます。しっかりと栄養をとり，体調を整えることが免疫力アップにつながります。

小さな努力　が　大きな成長に！

朝の交通指導を兼ねながら，生徒の皆さんの登校状況を先生方で見守っています。その中での“小さな努力”を紹介します。生徒昇降口は７時 45 分に開きます。そして，教室内への入室完了を８時 10 分としていますが，「もう少し家を早く出られるといいですね」と声をかけられた自転車通学の３年生女子生徒がいます。翌日から，“もう少し早く”の小さな努力を繰り返しています。その登校時の表情は笑顔と明るさが感じられます。きっと，明日は〇時〇〇分に家を出るからと本人なりのスケジューリングをしていると思います。生徒が通過していく短い時間の中に，こちらまで笑顔になるような清々しい時間が流れます。とても素晴らしい取り組みですね。これからも見守っていきたいと思います。人は意識することで行動が変わります。行動が変わることで，今までとは異なる自分を作ることができます。ほんの数分の積み重ねが人を成長させてくれるんですね。頑張れ！応援しています。**「自分と未来は変えられる」**ということを感じさせてくれる出来事でした。